

平成20年度全国学力・学習状況調査結果 函館市の概要について

「全国学力・学習状況調査」は、文部科学省により、全国の全ての小学校6年生と中学校3年生を対象に、第2回目が平成20年4月22日に実施されました。

本市における学力状況調査の全体的な傾向は、小学校6年生は全国の平均正答率に比べ、低い傾向を示しており、中学校3年生は全国の平均正答率とほぼ同様の結果でした。

本市の学校教育は、「心豊かに学び 共に未来のふるさとを拓く子どもをはぐくむ」という目標のもと、児童生徒一人一人の学ぶ喜びをはぐくみ、基礎・基本の定着を図る学習指導の充実に取り組んでいます。

基礎・基本の定着とは、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させるとともに、その知識や技能を実生活の様々な場面で活用することができるような力を身に付けさせることと捉え、日々の指導の充実に努めてきているところです。

本調査によって測定できる学力は、子どもたちが身に付けるべき学力の一部ではありますが、本市では、この結果を、子どもたちの学習状況を把握する資料の一つであると捉えており、調査結果については、他の学校や自治体との競争や比較ではなく、子どもたち一人一人の個性や能力に応じた学習指導の改善のために役立てていきたいと考えております。

今回、本市の調査結果の概要について公表しますが、さらに調査結果の分析を進め、学習指導等についての改善策を各学校等に示し、一層の指導の充実に努めていきます。

なお、調査結果の分析につきましては、本市としての平均正答率と全国の平均正答率の差が3%以内の場合には「同程度」、3.1%～5%以内の場合には「ほぼ同程度」、5.1%以上の場合には「改善が必要、課題がある」と整理しました。

調査の内容

教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 〔国語A，算数・数学A〕	主として「活用」に関する問題 〔国語B，算数・数学B〕
<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容など

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備状況，児童生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査

なお、平成20年度全国学力・学習状況調査の調査問題と質問紙調査の内容は、文部科学省のホームページに掲載されています。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/index.htm

学力状況調査の結果の概要

< 小学校国語 >

<p>国語 A (知識)</p>	<p>「国語 A 知識」については、改善が必要です。 「話すこと・聞くこと」については、改善が必要です。 「書くこと」については、ほぼ同程度です。 「読むこと」については、改善が必要です。 「言語事項」については、改善が必要です。</p>	<p>国語 B (活用)</p>	<p>「国語 B 活用」については、改善が必要です。 「話すこと・聞くこと」については、ほぼ同程度です。 「書くこと」については、改善が必要です。 「読むこと」については、改善が必要です。 「言語事項」については、今回出題がありませんでした。</p>
<p>課 題</p>	<p>学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく読むことなどは、大部分の児童ができていますが、次のことなどに課題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を書くこと ・目的や課題に即して、資料から分かったことをメモに取ること 	<p>課 題</p>	<p>相手や目的に応じた内容や質問する順序を考えながら、適切な言葉遣いで聞くことなどは、大部分の児童ができていますが、次のことなどに課題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情と場面についての描写を叙述と関連付けて読むこと ・目的に応じて情報を読み取り、分かったことや自分の考えを明確に書くこと



<p>改善の 方向</p>	<p>教師をはじめ、学校生活全体で言語環境を整備することや、児童が集団の中で安心して話ができるような人間関係をはぐくむ指導の充実 相手や目的に応じて適切に話したり、相手の意図をつかみながら聞くことや、計画的に話し合うことの指導の充実 文章や資料を読んだ上で、知識や経験に照らして自分の考えをまとめて書いたり、詳しく書いたりする指導の充実 資料と関連づけながら文章を読み取ったり、叙述や構成に着目して、内容を押さえながら要旨をとらえたりする指導の充実 文脈に沿って漢字を活用したり、言葉に対する知識を定着させたりするための言語活動の充実</p>
-------------------	---

< 小学校算数 >

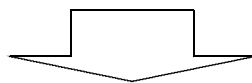
算数 A (知識)	<p>「算数 A 知識」については、改善が必要です。</p> <p>「数と計算」については、ほぼ同程度です。</p> <p>「量と測定」については、ほぼ同程度です。</p> <p>「図形」については、改善が必要です。</p> <p>「数量関係」については、改善が必要です。</p>	算数 B (活用)	<p>「算数 B 活用」については、改善が必要です。</p> <p>「数と計算」については、同程度です。</p> <p>「量と測定」については、改善が必要です。</p> <p>「図形」については、改善が必要です。</p> <p>「数量関係」については、ほぼ同程度です。</p>
課 題	<p>整数，小数の四則計算や十進位取り記数法，平行四辺形の求積，円グラフを読み取ることは大部分の児童ができていますが，次のことなどに課題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小数の乗法及び除法で，乗法と積，除法と商の関係を理解すること ・ 量（重さや面積）についての感覚を身に付けていること ・ 図形の定義や性質について理解すること ・ 百分率の意味について理解すること 	課 題	<p>ドアの開閉の動きが円の一部になることや，棒グラフから情報を読み取ることについては大部分の児童ができていますが，次のことなどに課題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を整理選択し，筋道を立てて考えること ・ 他者の考えが正しいかどうか割合の考えを用いて判断すること ・ グラフの特徴を基に，2つのグラフを比較し違いを読み取ること ・ 考えたことや判断した理由を記述すること



改 善 の 方 向	<p>数直線や線分図を用いながら数量関係をとらえさせ，小数の乗法や除法の意味理解を深める指導の充実</p> <p>量（重さや面積）について豊かな感覚を身に付けられるようにする指導の充実</p> <p>算数的活動等を通して，図形の定義や性質についての理解を深める指導の充実</p> <p>いろいろな場面を想定しながら，基準量，比較量，割合の関係を理解できるようにする指導の充実</p> <p>与えられた情報を整理・選択して，筋道を立てて考え，自分の考えを記述したり説明したりする指導の充実</p>
--------------	---

< 中学校国語 >

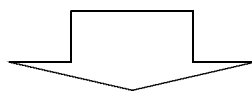
<p>国語 A (知識)</p>	<p>「国語 A 知識」については、同程度です。 「話すこと・聞くこと」については、同程度です。 「書くこと」については、同程度です。 「読むこと」については、ほぼ同程度です。 「言語事項」については、ほぼ同程度です。</p>	<p>国語 B (活用)</p>	<p>「国語 B 活用」については、ほぼ同程度です。 「話すこと・聞くこと」については、今回出題がありませんでした。 「書くこと」については、改善が必要です。 「読むこと」については、ほぼ同程度です。 「言語事項」については、改善が必要です。</p>
<p>課 題</p>	<p>文脈に即して漢字を正しく読むこと、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことなどは、大部分の生徒ができていますが、次のことなどに課題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の展開に即して内容を読み取ること ・文脈に即して漢字を正しく書くこと ・辞書を活用して、漢字が表している意味を正しくとらえること 	<p>課 題</p>	<p>登場人物の人間関係を整理したり、レポートを読んでその特徴や工夫をとらえたりすることは、大部分の生徒ができていますが、次のことなどに課題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現に注意しながら文章を読み、読み取った内容を条件に合った表現に直して書くこと ・文章に表れているものの見方や考え方について、四字熟語を手がかりにして理解し、説明すること



<p>改 善 の 方 向</p>	<p>学校生活全体における言語環境の整備や、国語科で身に付けた言語能力を活用し、他教科等の学習や学校生活全体で活用する機会の充実 具体的な場面を設定するなど、相手や目的、意図、状況などに応じて話したり、適切に聞き取ったりする言語活動の充実 様々な形態の文章の書き方を理解して、相手や目的、意図、多様な場面や状況などに応じて書く指導の充実 様々な文章に触れ、叙述の仕方や文章の展開をとらえたり、読み取ったりする言語活動の充実 読書活動や辞書を使用する機会を意図的に設け、語彙を増やし、調べたことを次の言語活動に生かしたり、漢字を文脈に即して文や文章の中で使用したりする学習の一層の充実</p>
----------------------	---

< 中学校数学 >

<p>数学 A (知識)</p>	<p>「数学 A 知識」については、ほぼ同程度です。 「数と式」については、改善が必要です。 「図形」については、改善が必要です。 「数量関係」については、ほぼ同程度です。</p>	<p>数学 B (活用)</p>	<p>「数学 B 応用」については改善が必要です。 「数と式」については、改善が必要です。 「図形」については、改善が必要です。 「数量関係」については、ほぼ同程度です。</p>
<p>課 題</p>	<p>正と負の数の大小関係、正と負の数の計算などは、大部分の生徒ができていますが、次のことなどに課題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字式や等式などの性質について理解すること ・円柱と円錐の体積の関係について理解すること ・多角形の内角の和を求めること ・比例のグラフ上に、変域に対応する部分を図示することや反比例のグラフから式を求めること 	<p>課 題</p>	<p>必要な情報を読み取り、的確に処理することは、大部分の生徒ができていますが、次のことなどに課題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筋道を立てて考え、その結果を数学的な表現を用いて説明すること ・事柄が成り立つ理由や、発展的に予想できる事柄について説明すること ・図形の証明において、仮定と結論の意味を理解して証明の構想を立てること ・表やグラフのデータを数学的に解釈し、問題解決の方法を説明すること



<p>改 善 の 方 向</p>	<p>実生活の事象や情報の数学的な意味を解釈したり、条件に合う文字式をつくり活用する活動の充実 実験や実測を通して、実感を伴って図形の特徴や性質の理解を深める活動の充実 数学的な表現や処理を基に特徴を明らかにしたり、分かりやすく説明する活動の充実</p>
----------------------	---

学習状況調査の結果の概要

質問紙調査は、子どもたちの生活習慣や学習環境などについての質問で構成されており、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査内容となっています。

本調査において、「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童生徒が80%を超えたものを高い傾向、60%未満を低い傾向とし、以下に主な項目を示しています。

【小学校】

函館市の子どもたちが高い傾向（80%以上）を示した項目

- (1) 朝食を毎日食べている。
- (2) 学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめている。
- (4) 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- (5) ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。
- (8) 将来の夢や目標を持っている。
- (21) 家の人と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べている。
- (26) 家で学校の宿題をしている。
- (29) 学校で友達に会うのは楽しいと思う。
- (30) 学校で好きな授業がある。
- (34) 学校の規則を守っている。
- (35) 友達との約束を守っている。
- (37) 近所の人にあつたときには、あいさつをしている。
- (38) 人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている。
- (39) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- (40) 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- (41) 海、山、湖、川などで遊んだことがある。
- (44) 包丁やナイフを使って調理したことがある。
- (55) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- (62) 算数の勉強は大切だと思う。
- (67) 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。

函館市の子どもたちが低い傾向（60%未満）を示した項目

- (20) 家の人と普段(月～金曜日)、朝食を一緒に食べている。
- (24) 家で食事をするときは、テレビを見ないようにしている。
- (25) 家で自分で計画を立てて勉強している。
- (27) 家で学校の授業の予習をしている。
- (28) 家で学校の授業の復習をしている。
- (32) 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。
- (33) 今住んでいる地域の行事に参加している。
- (43) 体の不自由な人やお年寄りや、困っている人の手助けをしたことがある。
- (50) 国語の勉強は好きである。
- (56) 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。
- (57) 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。

【中学校】

函館市の子どもたちが高い傾向（８０％以上）を示した項目

- (1) 朝食を毎日食べている。
- (2) 学校に持って行くものを，前日か，その日の朝に確かめている。
- (4) 毎日，同じくらいの時刻に起きている。
- (5) ものごとを最後までやりとげて，うれしかったことがある。
- (2 1) 家の人と普段(月～金曜日)，夕食を一緒に食べている。
- (2 6) 家で学校の宿題をしている。
- (2 9) 学校で友達に会うのは楽しいと思う。
- (3 4) 学校の規則を守っている。
- (3 5) 友達との約束を守っている。
- (3 8) 人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている。
- (3 9) いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思う。
- (4 0) 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- (4 4) 包丁やナイフを使って調理をしたことがある。
- (5 1) 国語の勉強は大切だと思う。
- (6 4) 数学ができるようになりたいと思う。

函館市の子どもたちが低い傾向（６０％未満）を示した項目

- (2 0) 家の人と普段(月～金曜日)，朝食を一緒に食べている。
- (2 4) 家で食事をするときは，テレビを見ないようにしている。
- (2 5) 家で自分で計画を立てて勉強している。
- (2 7) 家で学校の授業の予習をしている。
- (2 8) 家で学校の授業の復習をしている。
- (3 2) 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。
- (3 3) 今住んでいる地域の行事に参加している。
- (4 3) 体の不自由な人やお年寄りや，困っている人の手助けをしたことがある。
- (4 6) 「総合的な学習の時間」の授業では新しいことを発見できると思う。
- (4 7) 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは，普段の生活や社会に出たときに役に立つと思う。
- (4 9) テストで間違えた問題について，間違えたところを後で勉強する。
- (5 0) 国語の勉強は好きである。
- (5 4) 新しく習った漢字を実際の生活で使おうとしている。
- (5 6) 国語の授業で目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりしている。
- (5 7) 国語の授業で意見などを発表するとき，うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。
- (5 8) 国語の授業で自分の考えを書くとき，考えの理由が分かるように気をつけて書いている。
- (6 0) 解答を文章で書く問題は，最後まで解答を書こうと努力した。
- (6 1) 数学の勉強が好きである。
- (6 6) 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている。
- (7 1) 解答を言葉や式を使って説明する問題は，最後まで解答を書こうと努力している。